

条幅部自由参考

9月25日正午必着

明石春浦先生書



守約施博(孟子)

守るところ簡約にして施し行うことのひろきをいう。

明石幸子書



翠色凝煙春院寂、清陰籠月夜窓虚(黄淮)

春の庭は、木の緑にもやががかかって静まりかえり、月は木立ちを通して窓にさしかかる。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

秋樹翻<sub>ニ</sub>黄葉<sub>一</sub> (庾肩吾)

秋樹黄葉を翻へす。

黄葉の樹々に秋風が吹く。

樹合秋聲滿 村荒暮景閑  
虹收仍白雨 雲動忽青山 (元好問)

樹は合して秋声満ち 村は荒れて暮景閑かなり  
虹収りて仍お白雨 雲動いて忽ち青山

送<sub>ニ</sub>人入<sub>レ</sub>蜀 (李遠)

人の蜀に入るを送る 李遠

蜀客本多<sub>レ</sub>愁 今君是勝游  
碧藏<sub>ニ</sub>雲外樹<sub>一</sub> 紅露<sub>ニ</sub>驛邊樓<sub>一</sub>  
杜宇呼<sub>レ</sub>名語 巴江學<sub>レ</sub>字流  
不知煙雨夜 何處夢<sub>ニ</sub>刀州<sub>一</sub>

蜀客 本愁い多し 今君は是れ勝遊なり  
碧は雲外の樹に蔵せられ 紅は驛辺の楼に露わなり  
杜宇 名を呼んで語り 巴江 字を学んで流る  
知らず 煙雨の夜 何れの処にか 刀州を夢みん

夏休あけたる今日の校舎より子等手を舉げて お早うをいふ (齋藤 好生)

奈良人は 秋の寂しさ 見せじとや 社も寺も 丹塗にはせし (森鷗外)

奈良の代の人々は秋の寂しさを見せまいとしたのである。うか。神社も寺も丹塗りの色としたことであるよ。



菅井松雲先生書

半紙部規定課題A

9月25日正午必着

正 江  
長 清  
日

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

9月25日正午必着

行書



隸書



明石春浦先生書

西郊蘭若

羊士諤

雲天宜北戸

塔廟似西方

林下僧無事

江清日正長

石泉盈掬冷

山實滿枝香

寂寞傳心印

無言亦已忘

西郊の蘭若

羊士諤

雲天 北戸に宜しく

塔廟 西方に似たり

林下 僧事無く

江清くして 日正に長し

石泉 掬に盈ちて冷たく

山実 枝に満ちて香し

寂寞として 心印を伝ふ

無言 亦た已に忘る

草書



行草書



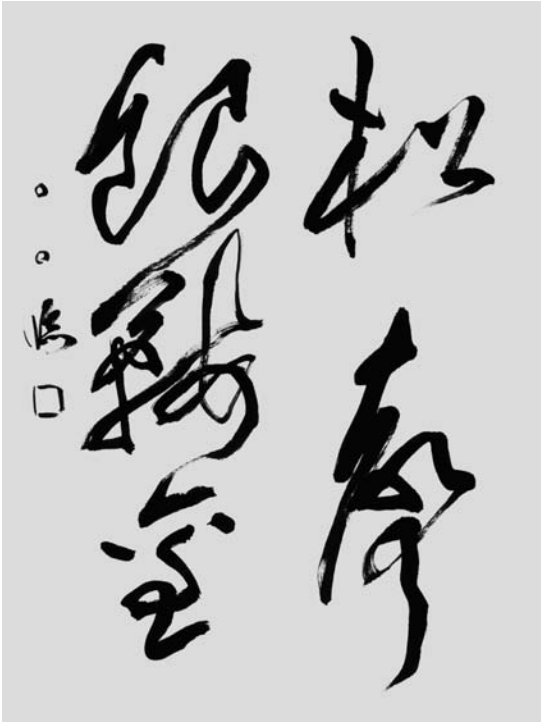
北向きの戸を開けば、雲たなびく空のまことよろしき景色 堂塔のたたずまいは、まるで西方浄土のよう

林の下に、僧たちは何の俗事もなく 江は清く澄んで、日は今や暮れなすむころ

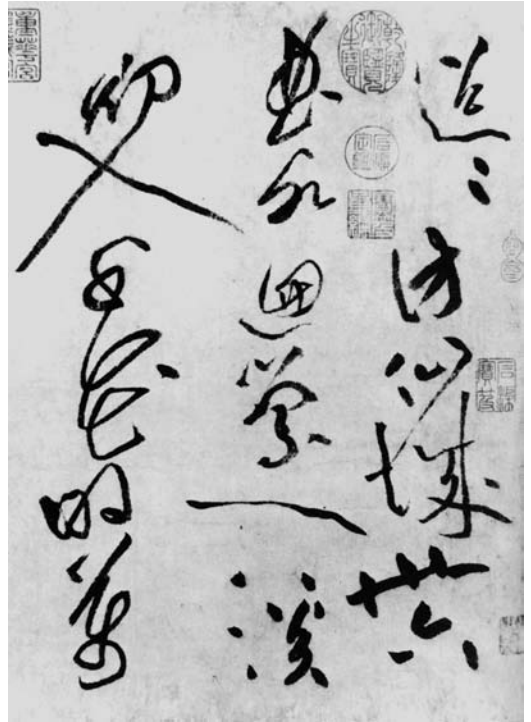
岩石の間にわき出る泉、手にいっばいにすくえばひんやりと冷たく 山中の木々は、枝にいっばいに実をつけてかぐわし

い

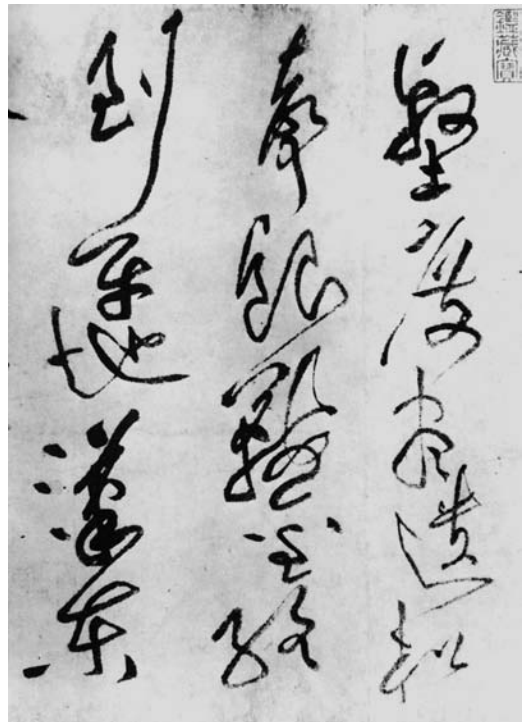
ひっそりとしずかに、仏心のしるしを伝え、ことば無しということすらをも、もはや忘れてしまった



松風の声 銀鞍金(絶)



西 墨濤先生臨書



宋 黄山谷・李太白憶舊遊詩卷

字は魯直、山谷道人・涪翁などと号した。慶曆五年(一〇四五)洪州分寧(江西省)で生まれた。二十三歳で進士に及第し、地方の官などを歴任したが、時の政府の弾圧を受けて宜州(広西省)へ流され、その地で病没した。(崇寧四年・一一〇五)享年六十一歳。彼は詩人としても名高く、蘇軾に師事し、後に多くの追隨者を生み、「江西詩派」の祖と仰がれた。

書においては、いわゆる宋の四大家の一人に数えられ、王羲之風の伝統派に対し、革新的な書を追い求め、その反骨的な強い精神力をもって書にうち込んでいった。そして、晩年ほど気力に満ちあふれた奔放さが増していったと言われている。

「李太白憶舊遊詩卷」は、草書に妙手を得たりと自負する彼の代表作である。行の変化や文字の大小の調和とリズム、文字と文字の組み合わせ方や間のとり方など、その変幻多様な表現を観察してみれば…。

(春濤)

9月25日正午必着

送、舟、仙、城、共、出、西、園、景、  
 一、溪、初、入、水、迴、繁、一、溪、初、入、水、迴、繁、

逍々として仙城を訪う 三十六曲 水廻繁す 一溪初めて入れば 千花明らかに 万壑…

△做書参考▽ ※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。

直線と曲線の響きあい、始筆の筆使いに注意しながら黄山谷「李太白憶舊遊詩卷」を意識して書いてみました。(墨濤)

道逢漁父來 指點停舟處 只在小橋邊 風吹著溪樹  
 在橋邊 風吹著溪樹

道逢漁父來 指點停舟處 只在小橋邊 風吹著溪樹 (黃景仁)  
 道に漁夫の来るに逢う。指點す舟を停むるの処。只だ小橋の辺に在り。風吹いて溪樹に著く。





え  
絵

ふで  
筆

中学一年

雨宮春聲先生書



くろ  
黒

しほ  
潮

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



とう ひょう  
投 票

小学五年

藤井良泰先生書



こう うん  
幸 運

小学六年

森戸春濤書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



9月25日正午必着



細谷春誠先生書

し な い  
竹 刀

小学三年



榎戸春龍先生書

か き  
活 気

小学四年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

び わ 小学一年・幼年



おな  
同 じ

小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

藤田幸春先生書

物とともにすごした  
大むかしの生活は動

小学五年

夜空にさいいた打ち  
上げ花火の美しさ

小学六年

増して遠ざかって行く  
汽車はーだいに速力を

中学

花は散ることによって生命  
の輝きをふすものである

一般(級位)

天のはら雲ふきはらふ 秋風に 山の端たかくいづる月影(後鳥羽院)

云のはら雲はらふはらふはらふ  
に山の端たかくいづる月影

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

|   |   |
|---|---|
| し | や |
| ゃ | ね |
| ぼ | ま |
| ん | で |
| だ | と |
| ま | ど |
|   | け |

幼年

|   |   |
|---|---|
| う | 月 |
| さ | の |
| ぎ | せ |
| が | か |
| お | い |
| ど | で |
| る |   |

小学一年

|   |   |
|---|---|
| コ | 秋 |
| ス | か |
| モ | ぜ |
| ス | に |
| の | ゆ |
| 花 | れ |
|   | る |

小学二年

|   |   |
|---|---|
| ト | 海 |
| ラ | の |
| ン | 見 |
| に | え |
| 行 | る |
| っ | レ |
| た | ス |

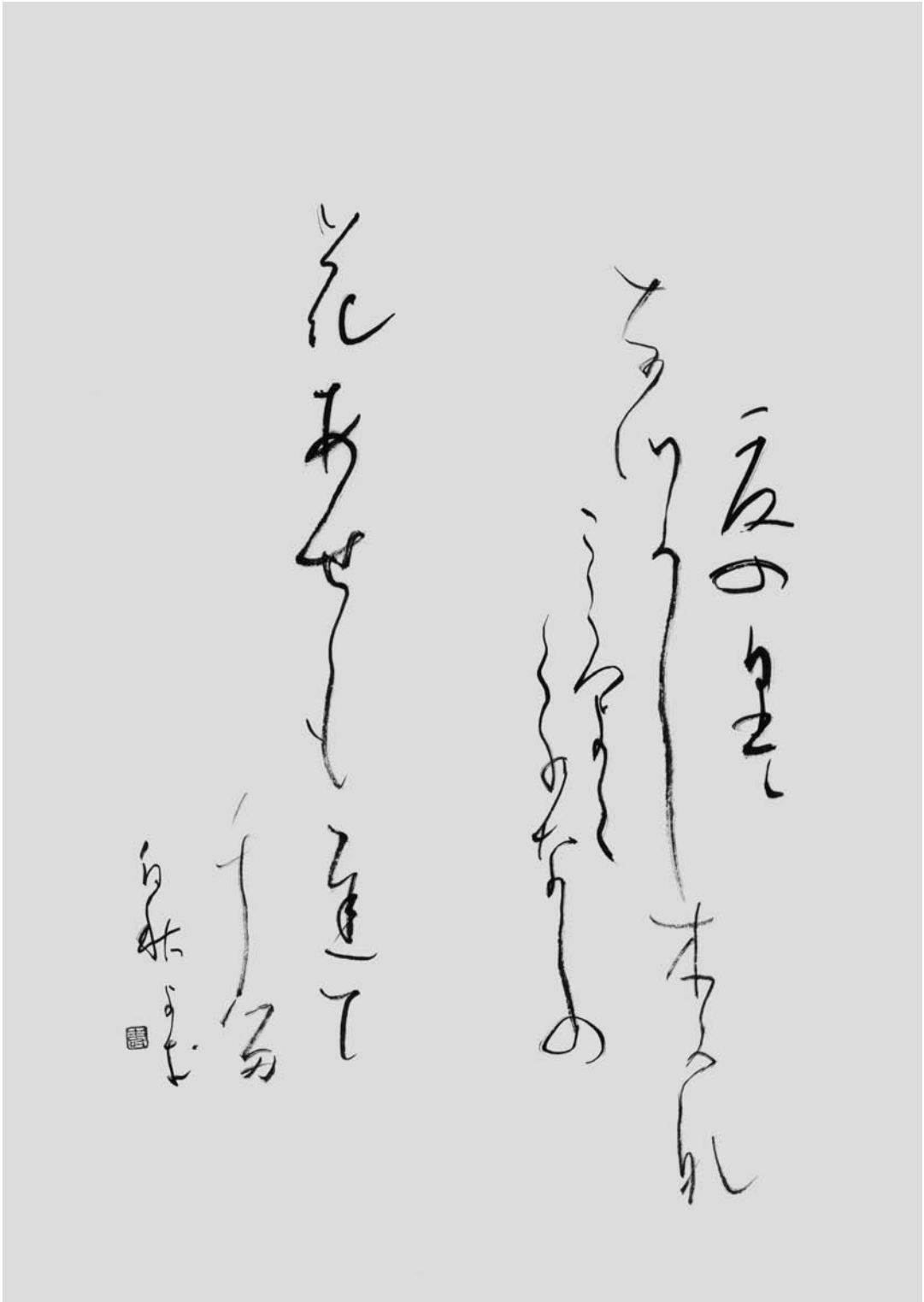
小学三年

|    |   |
|----|---|
| い  | か |
| る  | が |
| と  | や |
| ゆ  | く |
| め  | 星 |
| が  | 空 |
| が  | を |
| 広  | 見 |
| がる | て |

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



岩本景楓先生書